

Zone A

21世紀の学びを实践する教師の学習コミュニティを培う
ーコロナ対応を通じて学びや学校の在り方を探るー

Zone A ではこれまで、「専門職の学び合うコミュニティ (Professional Learning Communities)」を培う学校改革のビジョンにもとづき、「21世紀の学びを实践する教師の学習コミュニティを培う」というテーマを掲げ、学校が持続発展していくための教師協働の在り方について議論を積み重ねてきました。今回の実践研究福井ラウンドテーブル 2020 Summer Sessions ではコロナウイルスが世界的に感染拡大する現状に鑑み、この課題にそれぞれの現場で私たちがどう向き合っているかを共有します。臨時休業中の様々な対応から何が見えてきたか、これからの学びや学校はいかにあるべきか、学び合うコミュニティをどのようにデザインしていくか、参加者のみなさまとともに協働探究していきます。特にシンポジウムでは、オンラインでの「21世紀の学び」の在り方についても確認しながら対話と議論を重ね、これまでZone A で蓄積してきた知見をさらに前進させていきます。

<i>Connection</i>	12:00-13:00	接続
<i>Orientation</i>	13:00-13:10	オリエンテーション
<i>Session I</i>	13:10-15:00	<i>Webinar Symposiums</i> 21世紀の学びを实践する教師の学習コミュニティを培う
<シンポジスト>		富山市立堀川小学校 政二 亮介 伊那市立伊那小学校 宮川 達也 市立札幌大通高等学校 西野 功泰
<コーディネーター>		福井大学連合教職大学院 小林 和雄 福井大学連合教職大学院 王 林鋒
<i>Session II</i>		<i>Webinar Breakout Room</i>
<i>Group1</i>	15:10-16:00	Session I の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。小グループ形式で協働を編み込み、実践をデザインし、文化を生み出す。
<i>Group2</i>	16:10-17:00	